

私もそうですが「何人のお客様に
来てもらったか」という数字にとら
われることがあります、大事なこ
とは「どれだけお金を使ってもらえ
たか」といった点にシフトしてい
かなければなりません。

協働のまちづくり

― 昨年は市内全域で「まちづくり協
議会」が開始しました。市長も議会も
市民の皆様との意見交換の中では、協
働のまちづくりがテーマに挙がったか
と。

市長 協働のまちづくりが本格的に
スタートしたことは歴史の大きな1
ページです。

ともすれば「これは役所がやらな
ければならないことを市民に肩代わ
りさせているのではないか」との
とらえ方もありますがそうではあり



ません。自分たちの生活を良くする
ためには何が課題なのか、この課題
解決が一番ご存じでいらっしゃるの
は、そこに住んでいる市民の皆様で
す。したがって、そこに住んでいる
皆様に解決しやすい仕組みをつくり
たいのです。そのためにはお金も人
も場所も要ります。その部分を行政
も一緒になって取り組みましよう
というのが本旨です。

議長 議会の市民意見交換会でも、
協働のまちづくりについては多くの
ご意見を頂戴しました。

市長が言う協働のまちづくり、
仕組みづくりはまさにその通りだ
と思います。しかし、それぞれのまち



▲市民と市長の対話集会

で自立的・自発的なまちづくりを進
めていくには時間もかかると思いま
す。



また、まちづくりの方向性によつ
ては現在の支援金だけで済むのか、
あるいは表立って議論されることが
少ないですが、高山市全体の地域内
分権をどうしていくのか、支所地域
の地域振興はどうしていくのかな
ど、さまざまな課題もありますの
で、私たちも理解していかなければ
なりません。市民の皆様が一生懸命
取り組んでおられるあたりを手厚く
したり、目をかけていく必要がある
と思います。

市長 おっしゃる通りです。いま途
に就いたばかりですので、いろいろ
なノウハウを積み上げていく時間が
いります。進むべき方向性としてミ
ニ自治区のような仕組みにしたいで



▲市議会地域別市民意見交換会

す。そのためにも行政が持っている
権限や財源、人材などを市民の皆様
に託していくことが必要です。その
あたりは議会の皆様と相談しながら
進めてまいります。

議長 そうですね。今のまちづくり
協議会の皆様もいっぺんに受けてい
ただいて戸惑いもありますから。今
の良さを伸ばして、地域振興につな
げる組織に成長させていければ良い
と思います。

今年の抱負

― 新年にあたり抱負をお願いします。

市長 私は「和」です。これは聖徳
太子の憲法十七条の第1条で「和を
以て貴しと為す」とありますが、と